Global Challenge Forum 2024 夏 特別講座 シラバス

※すべての授業は高校での文理履修の区別を問わず、どなたでもご参加いただける内容で構成しています。

講座タイトル	リベラルアーツから問う「ポストヒューマン論争」
講座概要	リベラルアーツは歴史の変革期に見直されてきた。その基本となる問いは「人間」とは何か、「社会」とは何か、「自然」とは何か。資本主義のグローバル化、科学技術の進展、そして地球環境破壊が加速する世界で、これまでの人間観が揺らいでいる。人間はどこまでつくり変えられたか。人間的でないとは何か。人類に未来はあるのか。いま人類の知性にどのような地殻変動が生まれ、どのような学問にどう影響しているのか。今回のテーマでもある「ポストヒューマン」には、例えば人間中心主義からの移行、あるいは、AIロボットなど人間ではないものが「ヒューマン（人）」に代わる、といった様々な捉え方がある。人文学、社会科学、自然科学の観点から「ポストヒューマン」的な状況の可能性と危険性を考えることを通じて、リベラルアーツの挑戦に触れる。最終日には「ポストヒューマンと呼ばれる時代を私たちはどう生きるべきか」という課題に対してグループプレゼンテーションを実施する。
学修目標	人文（科）学、社会科学、自然科学の考え方の一端に触れ、学際的なリベラルアーツの可能性と課題を実感する。 ・「人文学」から「人間」の概念について見直し、排除や搾取の仕組みに目を向ける。 ・「国際関係学」から「人権」概念を見直し「人新世」の気候危機、パンデミック、ハイブリッド戦争などへの含意を探る。 ・「量子力学」から情報と情報処理（計算）がもたらす驚異を定量的にとらえる。 ・「心理学」から、心まつわる疑問の探究を通して描かれる人間観を吟味し、人類の未来、自己の生き方を考える。
開講言語	日本語
定員	25名
対象学年	高校生
使用テキストなど	必要に応じて、別途指示する。
担当教員とタイトル	アイスブレイク・セッション（担当：山崎歴舟 准教授）
担当教員とタイトル	生駒 夏美 教授（文学メジャー、ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー） 「人間解体ーわたしたちは怪物かもしれない」
内容	人類は人間中心の考え方で地球上の他の生命を好き勝手に利用し、地球のバランスを壊してきた。数多くの動植物が搾取され絶滅したり、絶滅の危機に瀕したりしている。一方で、この場合の「人間」とはすべての人ではないのではないのか。植民地主義を持ち出すまでもなく、同じ権利を持つ「人間」と見做されない他者の搾取はこれまでも現在も起こっている。このような考え方に警鐘を鳴らす文学表象作品を例にとり、怪物による人間中心主義の解体を読み解き、そこに関係するジェンダーやセクシュアリティの観点を検証する。
ディスカッショントピック	A1) 生殖医療はどこまで倫理的に許されるか。A2) 他者の搾取をせずに生きられるか。
担当教員とタイトル	毛利 勝彦 教授（国際関係学メジャー） 「国際関係学における人間観と世界観の変容」
内容	人類は最も成功した生物種なのか。人類活動が引き起こす気候変動、新型コロナウイルス感染症、ウクライナでの戦争など手に負えないほどの窮地に立たされた「絶滅危惧種」ではないのか。国際社会が協力して対応できなければ、自然が人類の未来を決定するだろうか。人類が地球全体に影響を及ぼした「人新世」はもうすぐ終わり、超知能が人類と協調して地球を維持する時代が始まるという見方もある。パリ協定前文に掲げられた「人権」と「母なる地球」の権利は両立するか。なぜ殺傷能力を持つドローンなどの兵器規制はできないのか。国際関係の地殻変動を考える。
ディスカッショントピック	B1) 動物や自然にも権利はあるのか。B2) 殺人ロボット兵器は禁止すべきか。
担当教員とタイトル	山崎 歴舟 准教授（物理学メジャー） 「ニュートリノはニューロンの夢を見る？」
内容	そもそも「ポストヒューマン」ってなんだ？ 量子物理学を研究している私にとって、このテーマは正直いって謎です… でも、このポストヒューマンという議論を生み出しているその張本人の一つ、こそが私の研究している量子コンピューターらしい、量子コンピューターは、その圧倒的計算パワーで将来のスパコンとして期待されている量子力学の原理で動く開発中のコンピューター。これらスーパーコンピューターと人間との関係や「情報処理の特異点」とよばれる謎のキーワードの正体を「非線形性」や「指数関数」という概念に焦点を当てながら、みんなで考えるマッドサイエンティフィック・フューチャリスティック・エクストラバガンザ。 ※高校での文理履修の区別を問わず、どなたでもご参加いただける内容となります。
ディスカッショントピック	C1) コンピューターが人間を超える時代は来る？ 来るなら、その時人間はコンピューターを使う、それとも使われる？ 来ないのであれば、それはなぜ？ C2) 我々は進化を辞めることが出来るか？
担当教員とタイトル	森島 泰則 特任教授（心理学メジャー） 「心は脳の産物なのか？そして、コンピュータは心を作り出せるのか？」
内容	意識、自由意志、思考、感情など、総じて「心」は脳が作り出しているのか、それとも心によって脳がはたらくのか。心や意識が存在するならば、それは宇宙のどこにあるのか？心と脳とAIは本質的に同じなのか。AIが人間を凌駕することはできるのか。心理学や脳科学はこれらの問いにどう答えるのか、そもそも答えられるのか、これまでの研究成果から考える。
ディスカッショントピック	D1) あなた一つまりあなたの喜怒哀楽や記憶や希望、自己意識を自由意志などがは無数の神経細胞の集まりと、それに関連する分子の働き以上の何ものでもない。（フランシス・クリック『DNAに魂はあるか』1994）この見解に賛成か反対か。なぜ？ D2) 「心とは何か？」をもとに私たちはどのような人間観（世界観の一部をなす）を描き、それに基づいてどのような生き方・世界を構築すべきなのか。